

地域で取り組む食育の推進～食育情報発信の場の拡大～	
北多摩南部保健医療圏	
実施年度	開始 平成24年度 終了（予定） 平成25年度
背景	1 平成22年国民健康・栄養調査の結果では、肥満者の増加や野菜摂取量の不足など食生活での改善すべき課題が多く存在しており、20代30代ではその傾向が顕著である。 2 当圏域はいわゆる子育て世代、働き盛りである30代の住民が多いことが特徴であり、子供たちの食習慣の形成に影響を与えるこの年代への働きかけは非常に重要である。 3 住民が食に関心を持ち、健康的な食生活の実践を図るためには、毎日の生活に密着した様々な場からの継続的な働きかけが必要である。
目標	<全体目標> 食に関心を持ち、食生活の大切さを意識する都民を増やすために、毎日の生活に密着した場から食育の普及啓発を進める協力機関を拡充させ、食環境整備を推進する。 <平成24年度の目標> 効果的な普及啓発方法の検討及び協力機関の拡大を図る。
事業内容	1 関係機関向けの食育講演会の開催（意識の醸成） （1）開催日 平成24年6月8日 （2）演題 「共に食すること～共食が育むもの～」 （3）講師 津田塾大学学芸学部国際関係学科教授 外山 紀子氏 2 「共食」風景写真、「共食」エピソード、「共食」川柳の募集 （1）募集期間 平成24年6月1日～9月28日 （2）募集方法 ・保健所のホームページ及び市報に掲載した。 ・保健所及び市の事業やイベントでチラシを配付した。 （3）審査方法 食育推進会議で選考した。 3 普及啓発媒体の作成 「共食」を普及啓発するための媒体として、ポスター、タペストリー、卓上メモ等を作成した。 4 協力機関の拡大 市（健康主管課、保育主管課、小・中学校主管課）や給食施設の他に、生活に密着した場であるスーパーマーケット、ファミリーレストラン、フードコート、家電量販店、ホームセンターにポスターの掲示を依頼した。 5 食育推進会議の開催 本事業を推進するための検討の場として、食育推進会議を年3回開催した。 6 貸し出し用食育媒体の整備 給食施設や関係機関・団体で手軽に食育活動が展開できるように、貸し出し用の食育媒体を整備した。
評価	1 食育講演会の開催や「共食」風景写真、「共食」エピソード、「共食」川柳を募集したことにより、給食施設や関係機関・団体及び市民の意識を醸成することができた。 2 スーパーマーケット、ファミリーレストラン、フードコート、家電量販店、ホームセンターにポスターの掲示を依頼したことにより、次年度に効果的かつ広域的に食育の推進を図るための基盤ができた。
問い合わせ先	多摩府中保健所 生活環境安全課 保健栄養係 電話 042-362-2334（418・419） ファクシミリ 042-360-2144 E-mail S0200167@section.metro.tokyo.jp

＜作成した食育普及啓発媒体＞

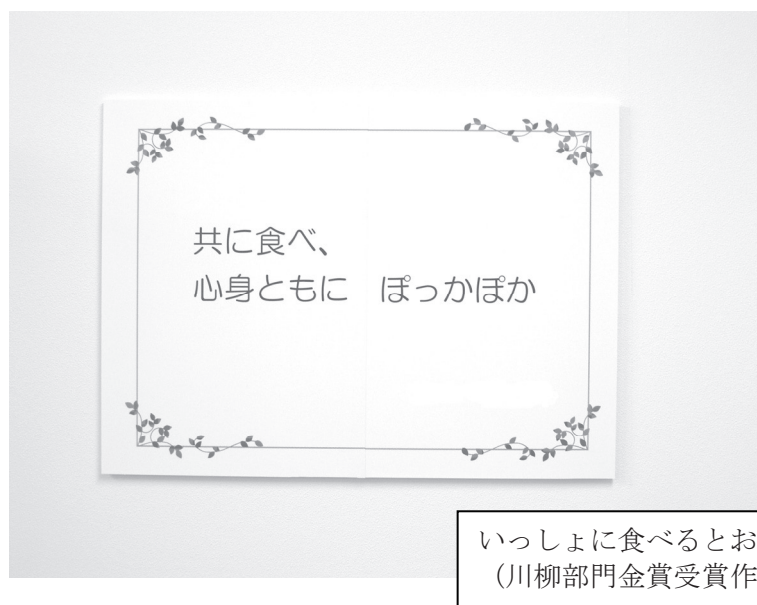
☆ 6月の食育月間等に関係機関で
掲示するためのポスター



☆写真をイベント等で展示できるように
したタペストリー

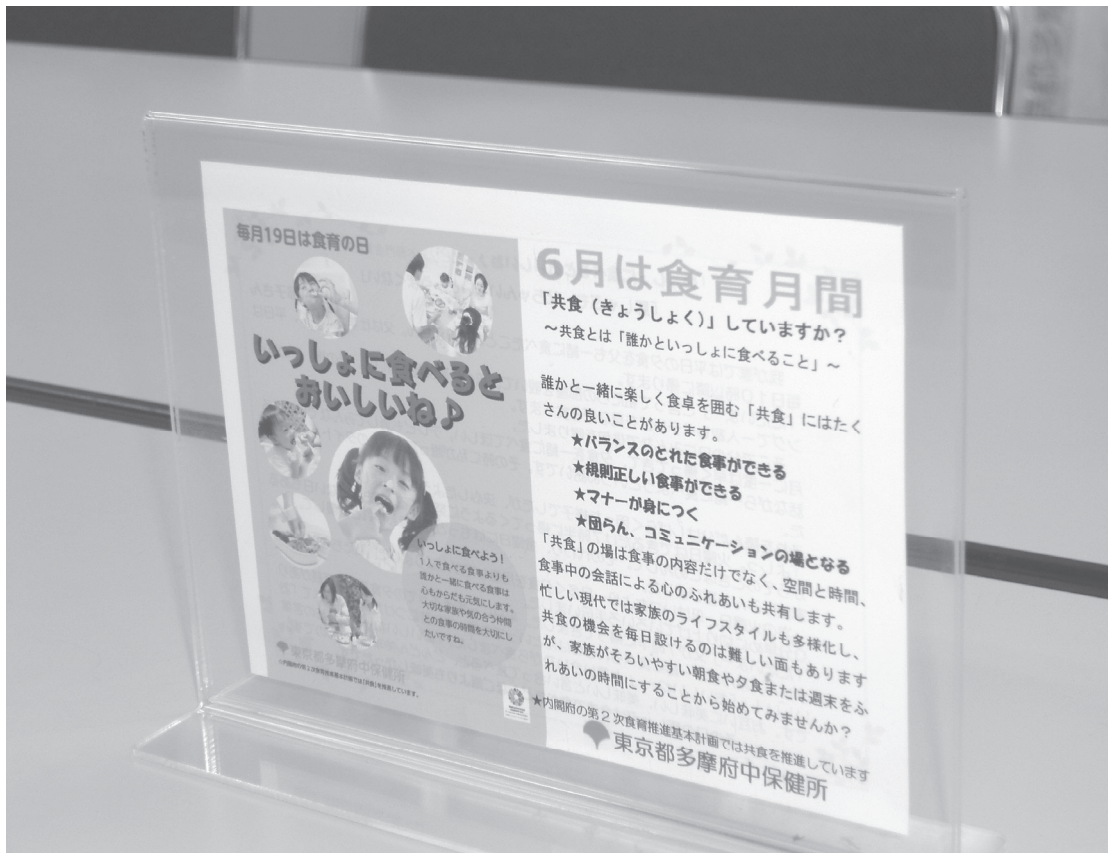


☆川柳をイベント等で展示できるようにしたパネル

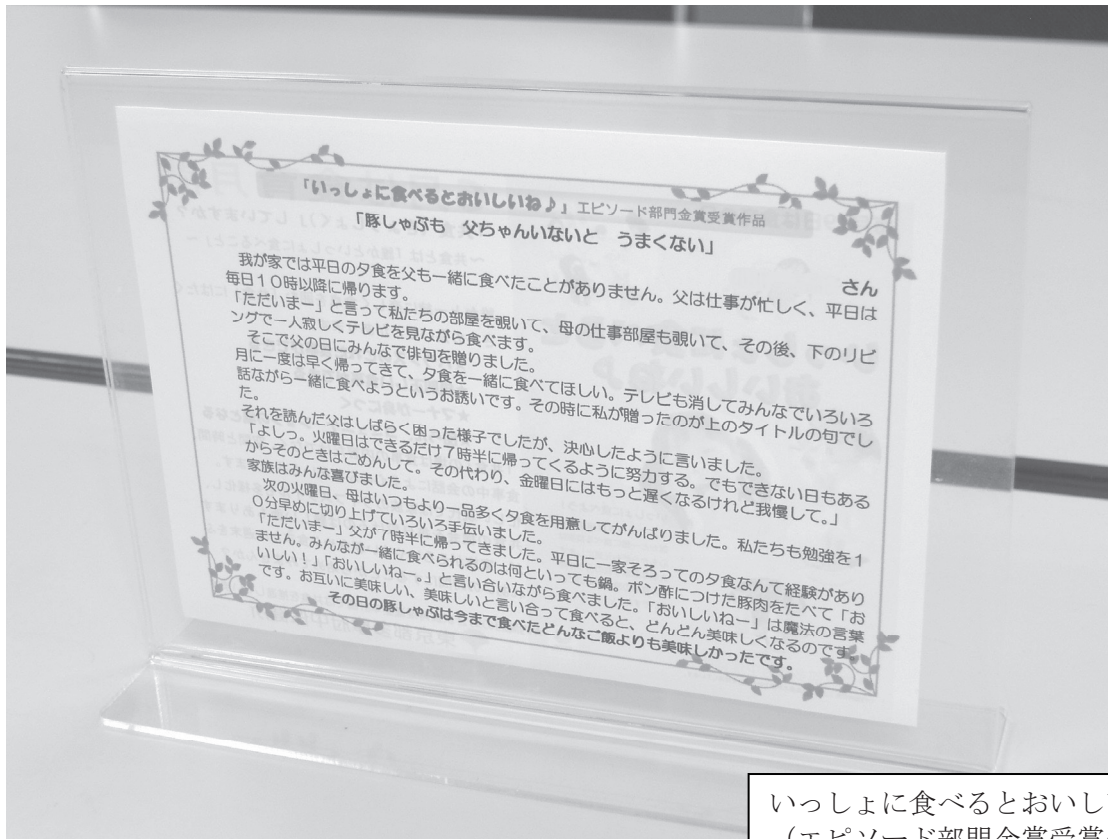


☆食堂のテーブルに置き、食事をする時に見てもらおう卓上メモ

(表)「共食」の大切さを説明



(裏) エピソードを紹介



いっしょに食べるとおいしいね
(エピソード部門金賞受賞作品)